

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2020-36695(P2020-36695A)

【公開日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-010

【出願番号】特願2018-164486(P2018-164486)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月5日(2020.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示手段と、遊技者の動作を検出する動作検出手段と、を備える遊技機であって、
遊技者の動作を促す動作促進演出と、
前記動作検出手手段の検出結果に応じた動作検出演出と、
前記動作検出演出の実行回数を示唆する示唆演出と、を実行可能な演出実行手段と、
複数種類の演出状態のうちの何れかの演出状態に制御可能な制御手段と、を備え、
前記示唆演出が実行されたことに基づいて、前記動作検出演出の実行回数に関連した関連情報を表示可能であり、

前記関連情報を表示するときの表示パターンとして、前記示唆演出により示唆された回数に応じた態様で表示する第1表示パターンと、前記示唆演出により示唆された回数のうちの一部の回数に応じた態様を表示し、残りの回数を遊技者が特定困難とする第2表示パターンと、を有する。
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段A1の遊技機は、
 表示手段(演出表示装置5)と、遊技者の動作を検出する動作検出手手段(プッシュセンサ35B)とを備える遊技機(パチンコ遊技機1)であって、
 遊技者の動作を促す動作促進演出(ボタン画像206F003)と、
 前記動作検出手手段の検出結果に応じた動作検出演出(成功演出、失敗演出)と、
 前記動作検出演出の実行回数を示唆する示唆演出(貯留予告演出)と、を実行可能な演出実行手段(演出制御用CPU120)と、を備え、
複数種類の演出状態(Aモード、Bモード)のうちの何れかの演出状態に制御可能な制御手段(演出制御用CPU120)と、を備え、

前記示唆演出が実行されたことに基づいて、前記動作検出演出の実行回数に関連した関

連情報を表示可能であり（図19-3及び図19-6に示すように、貯留予告演出が実行されたことに基づいて、成功演出又は失敗演出の実行回数に関連したボタン画像206F003を、演出表示装置5の第1領域206F001に表示可能であり）、

前記関連情報を表示するときの表示パターンとして、前記示唆演出により示唆された回数に応じた態様で表示する（図19-3（2）及び（3）に示すように、貯留予告演出により6個のストック用ボタンアイコン画像206F004が表示されたときに、第1領域206F001の4つの空き貯留部に4個のボタン画像206F003を貯留表示させ、第1領域206F001に貯留表示可能な個数を超えた2個分のボタン画像206F003を第2領域206F002の空き貯留部に貯留表示させる）第1表示パターンと、前記示唆演出により示唆された回数のうちの一部の回数に応じた態様を表示し、残りの回数を遊技者が特定困難とする（図19-6（2）及び（3）に示すように、貯留予告演出により6個のストック用ボタンアイコン画像206F004が表示されたときに、第1領域206F001の4つの空き貯留部に4個のボタン画像206F003を貯留表示させ、第1領域206F001に貯留表示可能な個数を超えた2個分のボタン画像は表示させない）第2表示パターンと、を有する、

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、関連情報を表示するときの表示パターンを複数有することにより、遊技者の動作を促進する演出のバリエーションが豊富化し、遊技の興趣を向上させることができる。